



妙高戸隠連山国立公園

Photo
Contest
2017



ひとめござん
一目五山の絶景
32選



Photo Contest 2017

2017 年秋、妙高戸隠連山国立公園のお気に入りの山の風景と農村や湖沼などの風景がセットになった「一目五山」の絶景スポットを募集しました。そして、32 番目に誕生した国立公園を記念し、一般公募及び協議会構成員推薦の写真の中から、32 選を選定しました。
美しい四季折々の風景をご覧ください。

審査委員長 総評

富山大学芸術文化学部准教授
奥 敬一



審査をしてみて、妙高戸隠連山国立公園の山々が、その所在する市町村はもちろんのこと、とても広い範囲でランドマークとなっていることに改めて驚かされました。一般からの応募に、妙高戸隠連山国立公園連絡協議会の構成員からの推薦も加えた百数十点の写真は、実に多様な視点と多彩な資源の組み合わせでした。今回はその中から、山岳の風景に加え、それと引き立てあう関係にある農村風景や水辺、高原など、あまり観光ガイドなどでは目にしない風景を「発掘する」という観点から選定作業を進めました。国立公園の豊かな自然との関係でなりたっている地域のなりわいについては、とくに重視して選んでいます。また、国立公園を取り巻くなるべく広範な地域を包むようにすることにも留意しました。そのため、すでに有名になっている視点の中には外れたものもありますが、面白い見方や見る時間帯の選び方によって、これまでと違った魅力や思いがけない自然の表情を引き出そうとしたものは選定されている場合もあります。

大賞に選ばれた作品「収穫」は、今回の募集テーマのまさに王道をいく作品となりました。秋晴れのもと重々と実った稲の刈り取り作業をとらえた写真は、五山の麓に広がる人々の営みが、地域の風景を鮮やかに彩ってくれていることを非常によく表しています。初秋の頃に訪れて、地元産の新米のおにぎりを抱えて里山ハイキングに出かけたくなる、そんな魅力を伝える写真です。大賞以外にも、遠景の山々をバックにリンゴやそばなど様々な農業の営みが展開する写真が、この地域の「おいしさ」を表現する作品として入選しています。

惜しくも次点となった「晩秋」は、山懷に抱かれた笹ヶ峰の高原を一望できる高台からの写真です。白くなりかけた山の頂から高原の木々に広がる紅葉へと見事なグラデーションを描いており、実に美しい一瞬を切り取っています。まだあまり知られていないけれども、一目見たさに一足伸ばしたくなる視点を提供してくれました。

そのほか、32 選に入選した作品には毎日のランニングや散歩とともにある五山の風景から、頑張って登らないとたどり着けない山岳からの眺めまで、日常と非日常の楽しさが織り込まれています。また、山岳の形の多様さはこの国立公園の最大の特徴ですが、少し離れた千曲川右岸沿い一帯からはそれがシルエットのように遠景に浮かび上がり、地域のアイデンティティとなっています。これらの国立公園を含んでいない自治体からの風景もいくつか選定しました。山岳との相性がよい水辺からの作品も多数入選しています。野尻湖周辺はその代表ですが、ほかにも大小様々の池や川辺が抜群のビューポイントとして愛されていることが、入選作から見てとれます。

ひとまずこのような形で32 選を選びましたが、これは国立公園の風景を「使い込む」ための始まりです。この32 選を見て、もっといいところがある、こちらも負けてないぞ、とあちこちから優れた風景が名乗りをあげて、風景自慢を繰り広げてほしいのです。そして、その風景の中でなりわいを続けている人たちは、この風景を作っているのは自分たちだということもどんどん誇ってほしいのです。それが妙高戸隠連山国立公園を訪れる人たちへの最高のもてなしにつながるのだと思います。

ひとめぐさん
「一目五山」
とは？

当国立公園内には、個性的な形の山が多く、「一目」ですぐにわかる山がたくさんあります。「五」は「たくさん」の意味。「五山」は決まった山ではなく、2 つ以上の山が一目で見えていれば、それが「一目五山」の風景です。

平成 27 年の国立公園誕生を記念してつくった言葉であり、この美しい風景を、多くの皆さまに知っていただきたいと考えています。



「収穫」

撮影：山下継一氏

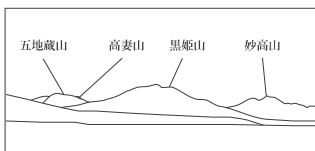
撮影場所：【地点 ①】
Map B-2

信濃町（富士里付近）

駐車場：

特になし

（周囲の迷惑にならないよう、
ご注意ください）



■ 応募者からのコメント

山並みの眺望がすばらしく、いつの季節に來ても
天気が良ければ素晴らしい。

□ 講評

秋晴れのもとでの稲の収穫風景が、五山の麓に広がる地域の営みを非常に良く表している。色彩も鮮やかで初秋に五山を眺めに訪れたい魅力を感じている。五山の風景の価値を高める農業を、ぜひともうまくアピールして欲しい。



「晩秋」

撮影：山川茂夫氏

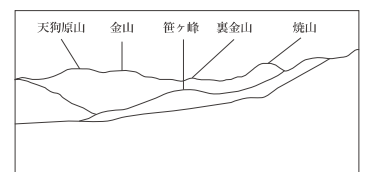
撮影場所：【地点 ②】
Map B-2

妙高市（笹ヶ峰高原）

駐車場：

特になし

（周囲の迷惑にならないよう、
ご注意ください）



■ 応募者からのコメント

妙高市笹ヶ峰に入って直ぐの車道から見られる風景です。ここは笹ヶ峰高原が一望できるポイント。車に乗りながら見られ、笹ヶ峰高原に來るとまず最初に驚かされる風景です。紅葉シーズンも良いですが、初夏の山々に残雪が残る風景もまた良いです。

□ 講評

笹ヶ峰の晩秋が、山の頂の白さから麓の広葉までみごとなグラデーションを描いており、実に美しい一瞬を切り取っている。牧場が垣間見えるところに、地域の暮らしとのつながりもみてとれ、新しい視点が発掘されたと思う。



「神秘的な朝」 撮影：寺澤善輝氏

■ 応募者からのコメント

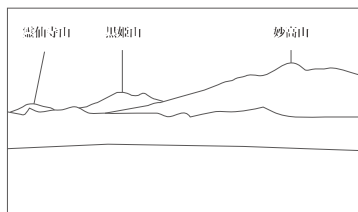
妙高・黒姫・飯綱は古来から信仰の山で、朝霧にあさひが降り注ぎ、神々しく神秘的でした。お勧めは、紅葉と初雪が重なる時期で、早朝から九時位までの「三段錦」(冠雪・錦秋・麓の常緑樹)が最高です。

□ 講 評

朝霧が立ちこめる中、遠景に五山が見える風景は、早朝の散歩やランニングのモチベーションを高めてくれるだろう。

撮影場所：【地点 ③】
Map B-1

妙高市
(松山水辺ふれあい公園)
駐車場：
松山水辺ふれあい公園の
駐車場



「初夏の笹ヶ峰高原乙見湖」 撮影：山川茂夫氏

■ 応募者からのコメント

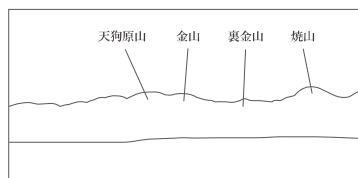
笹ヶ峰高原にある笹ヶ峰ダム、別名乙見湖は初夏の時期になると雪解け水で満水になり、湖面には残雪の残る周辺の山々を見事に映し出します。笹ヶ峰ダムは農業用水の為のダムなので、8月終わる頃には水がかなり減ってしまい、このような景色は見られなくなります。初夏までの期間限定の風景です。湖面が鏡のようになるのは風の無い朝の時間帯です。

□ 講 評

新緑から緑がようやく濃くなってくる季節でも稜線はまだまだ白く覆われている。乙見湖に映るそのコントラストが鮮やか。

撮影場所：【地点 ⑤】
Map A-2

妙高市(笹ヶ峰高原乙見湖)
駐車場：
乙見湖休憩舎の駐車場



「豪雪の晴れ間」 撮影：寺澤善輝氏

■ 応募者からのコメント

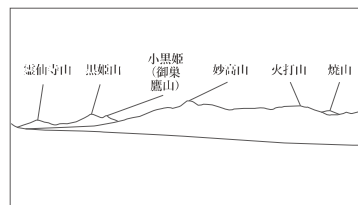
先住民のアイヌ民族、いやナウマンゾウの時代から続く妙高連山の雪景色です。豪雪が一息ついた後の、抜けるような青空と雪景色の空の色を映したような青い雪が大好きです。この撮影ポイントは、春夏秋冬、いつでもなん時でもおすすめです。

□ 講 評

妙高周辺は豪雪地帯であり厳しい冬を過ごすことになるが、その中で晴れ間が出る瞬間はきわめて貴重な時間だろう。雪を融かしながら流れる川面には、春の気配もわずかに含まれているようだ。

撮影場所：【地点 ④】
Map B-1

妙高市(はねうま大橋)
駐車場：
はねうま大橋左岸側に
駐車スペースあり



「早苗の水面に映る黒姫山」 撮影：春日良樹氏

■ 応募者からのコメント

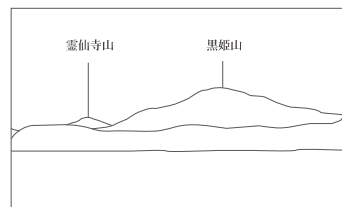
人々の生活をずっと見続けてきた山だから

□ 講 評

田んぼ一面に張られた水は、山からの恵み。早苗が風にそよぐ水面もまた五山を映す絶景を作り出す。

撮影場所：【地点 ⑥】
Map B-2

妙高市(杉野沢付近)
駐車場：特になし
(駐車場の無い杉野沢から
中部北陸自然歩道を利用し
ての散策がおすすめです)





「中でも妙高山が好き」 撮影：竹内靖彦氏

■ 応募者からのコメント

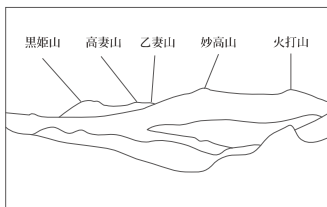
昭和 56 年にこの景色を最初に見て感動してから
ず〜と何度見ても感動、そして撮影した日も感動しま
した。おすすめ時期は、一年中と言いたいけれども、
降雪してからは車両通行止め及び雪崩が発生するので
無理です。おすすめ時間は、日の出から日の入りまで
どの時間も感動です。

□ 講 評

妙高に連なる連山とふもとの平野を一望できる貴重
な視点を紹介した作品。四季や時刻によって次々と表
情が変わる姿が思い浮
かべられる。

撮影場所：【地点 ⑦】
Map B-1

妙高市（坪山付近）
駐車場：特になし
（周囲の迷惑にならない
よう、ご注意ください）



「晩秋の北信濃」 撮影：井上信男氏

■ 応募者からのコメント

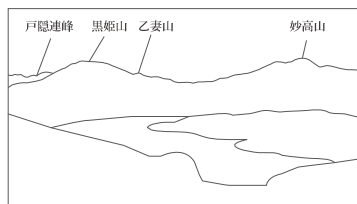
黒姫山、妙高山、野尻湖を俯瞰撮影できます。おすす
めは新緑か紅葉の季節です。

□ 講 評

野尻湖に映り込む真っ青な空と紅葉、冠雪が見事にバ
ランスした展望。湖畔の暮らしがうらやましくなる風景。

撮影場所：【地点 ⑨】
Map B-2

信濃町（管川付近）
駐車場：特になし
（周囲の迷惑にならない
よう、ご注意ください）



「一目三山」 撮影：有江重毅氏

■ 応募者からのコメント

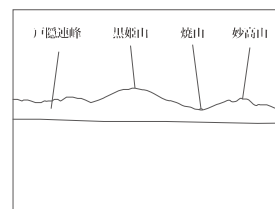
信濃町から冬の黒姫山

□ 講 評

あたり一面の銀世界に黒姫を中心とした山々が
映える。雪原を歩む足跡はどこへ向かうのか、冬
でも人や生き物の暮らしがあることを感じさせる
一枚となっている。

撮影場所：【地点 ⑧】
Map B-2

信濃町（穂波付近）
駐車場：
特になし
（周囲の迷惑にならない
よう、ご注意ください）



「きらめく湖面を眺めて」 撮影：山下茉莉子氏

■ 応募者からのコメント

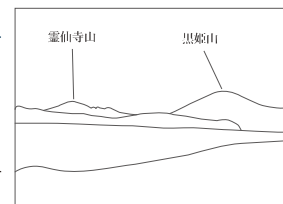
弁天島にフェリーで行き、座ってのんびりとお
弁当を食べる場所をさがして見つけた湖畔です。
水辺でばしゃばしゃ遊ぶこともでき、素敵な時間
でした。

□ 講 評

島は日常を離れてリフレッシュできる場所。喧
騒を忘れてのんびりできる場所として、最高のロ
ケーションかもしれない。

撮影場所：【地点 ⑩】
Map B-2

信濃町（野尻湖弁天島）
駐車場：
野尻湖遊覧船乗り場の駐車場
（弁天島までは遊覧船乗車）





「霊仙寺湖でのワカサギの穴釣り」

撮影：山科義彦氏

■ 応募者からのコメント

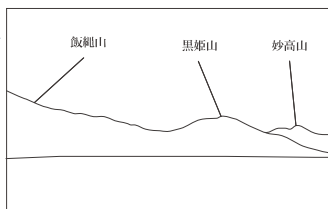
自然の美しい風景に人々の楽しむ姿がうまく溶け合っている。(自然と人工物)

□ 講 評

厚い氷の下に糸を垂らすワカサギ釣り、色とりどりのテントがモノクロームな冬の景色ににぎわいをもたらしている。下ばかり見ずに、時には黒姫や妙高を見上げて背伸びしたい。

撮影場所：【地点 11】
Map B-2

飯綱町（霊仙寺湖）
駐車場：
霊仙寺湖の駐車場



「桃のアーチ」 撮影：佐原亮太氏

■ 応募者からのコメント

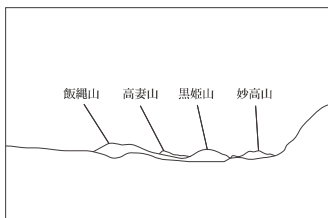
のどかで見惚れる景観でした。桃の花が咲く 4 月下旬、5 月上旬がおすすめです。

□ 講 評

大型連休の頃、桃の花が咲き誇る丹霞郷は多くの人でにぎわう。桃の枝のアーチをフレームに五山を覗きながら、そろそろ冷たいものでも頬張りたくなる季節だろうか。

撮影場所：【地点 13】
Map B-2

飯綱町（丹霞郷）
駐車場：
丹霞郷の駐車場



「真っ赤なりんごと紅葉と薄化粧した山々」

撮影：天野奈津美氏

■ 応募者からのコメント

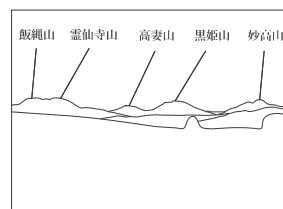
初雪で薄化粧した山々と紅葉と赤いりんごのコントラストがとてもきれいです。秋に雪が降った午前中がオススメです。

□ 講 評

飯綱町はリンゴの有名産地。リンゴ園は五山とともに生きる麓の風景を視覚と味覚で彩ってくれる。

撮影場所：【地点 12】
Map B-2

飯綱町（倉井付近）
駐車場：特になし
(周囲の迷惑にならないよう、ご注意ください)



「天の川、地の鏡池」 撮影：増田恵氏

■ 応募者からのコメント

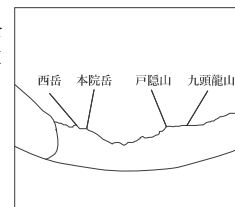
天の川が良く見える良い場所です。

□ 講 評

鏡池は頻繁に使われているモチーフだが、夜景のひろがりや大地のいろどりが見事に表現された特別な一枚となっている。

撮影場所：【地点 14】 Map A-2

長野市（鏡池）
駐車場：鏡池の駐車場





「そば畑と戸隠連峰」 撮影：吉田勝氏

■ 応募者からのコメント

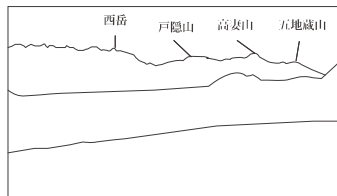
戸隠はそば畑が広範囲で栽培されていますが、ここもやや高台でそば畑そして民家が建ち並ぶその先に戸隠連峰がそびえています。春の山が緑になる頃の谷間の残雪、秋の紅葉等が美しい景観を見せてくれます。ソバ、ミズバショウ、カタクリなどの花や、紅葉、鏡池、戸隠高原の風景と生み出されるそばや竹細工などの産物があります。

□ 講 評

そばは戸隠の大事な楽しみ。そば畑の風景も大事な地域性を醸し出す。山間の生活がよく描き出されている風景。

撮影場所：【地点 15】
Map A-2

長野市（戸隠豊岡付近）
駐車場：特になし
（周囲の迷惑にならないよう、ご注意ください）



「須坂市からの一望連山」 撮影：吉田勝氏

■ 応募者からのコメント

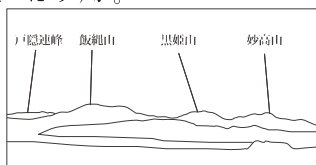
千曲川の右岸側から一望できる公園の山々は上流の長野市方面で見る山と下流の木島平方面から見る山とでは戸隠連峰が前の飯綱山の左に又は右に見え、山頂の雪化粧や春の緑、花咲く頃の残雪時等ここ須坂市野辺の風景と共に変化に富む美しい景観を見せてくれる。

□ 講 評

千曲川右岸まで離れるとそれぞれの山の個性的な形がシルエットのように浮かび上がる。この一帯の町や村ではどこも五山が日常の一部になり、地域らしさのアイデンティティになっているだろう。コメ、リンゴ、ブドウなど様々な農産物の収穫時期には、山が遠くまでよく見える日ほど仕事にも精がでるのではないだろうか。

撮影場所：【地点 17】
Map B-2

須坂市（北信濃くだもの街道沿い）
駐車場：須坂市創造の家の駐車場



「少し登ると、あらびっくり！！」

撮影：山下茉莉子氏

■ 応募者からのコメント

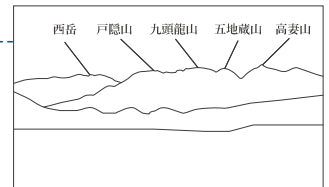
めのう山に登ろうと思い、スキー場の斜面を登りはじめました。少し登って後ろをふり向くと、戸隠連峰の圧感の景色が！！少し登るだけでも、こんなに素敵な景色に出会えるのですね。

□ 講 評

スキー場の楽しさも冬だけではない。気軽に歩ける広い原っぱはいまや貴重になっている。夏のスキー場を新鮮な目で見てとらえた一枚。

撮影場所：【地点 16】
Map A-2

長野市（戸隠スキー場）
駐車場：
戸隠スキー場の駐車場



「中野市からの一望連山」 撮影：吉田勝氏

■ 応募者からのコメント

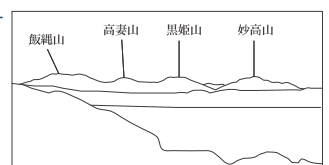
千曲川の右岸側から一望できる公園の山々は上流の長野市方面で見る山と下流の木島平方面から見る山とでは戸隠連峰が前の飯綱山の左に又は右に見え、山頂の雪化粧や春の緑、花咲く頃の残雪時等ここ中野市桜沢の風景と共に変化に富む美しい景観を見せてくれる。

□ 講 評

千曲川右岸まで離れるとそれぞれの山の個性的な形がシルエットのように浮かび上がる。この一帯の町や村ではどこも五山が日常の一部になり、地域らしさのアイデンティティになっているだろう。コメ、リンゴ、ブドウなど様々な農産物の収穫時期には、山が遠くまでよく見える日ほど仕事にも精がでるのではないだろうか。

撮影場所：【地点 18】
Map B-2

中野市（桜沢付近）
駐車場：特になし（集落内への駐車はご注意ください）



32 選 <市町村等からの推薦>



「深秋のパノラマロード」

■ 推薦者からのコメント

鋸岳から鬼ヶ面山間の縦走路は 360 度のパノラマが見渡せます。ここからの眺めはこの公園名の一部にもなっている「連山」感を存分に味わえる場所です。

□ 講 評

たおやかな山から荒々しい山まで一度に体験できてしまうのが、この国立公園の面白いところ。鋸岳もそうした個性の一つである。

撮影場所：【地点 19】

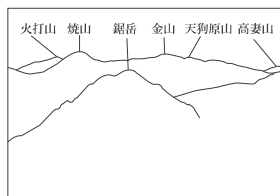
Map A-1

糸魚川市（鋸岳から鬼ヶ面山への縦走路）

駐車場：

雨飾温泉駐車場

大神堂登山口駐車場（登山）



「奴奈川姫の横顔」

■ 推薦者からのコメント

雨飾山の頂上付近、ふと来た道を見下ろしてみると、奴奈川姫の横顔が見えます。季節に応じて様々な表情があります。

□ 講 評

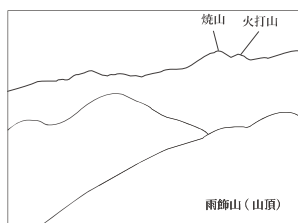
新潟・長野の県境、雨飾山から公園北部の峰々が望める。たどり着くのはたいへんだが、きてよかったと感じられる視界である。

撮影場所：【地点 21】

Map A-1

小谷村／糸魚川市（雨飾山）

駐車場：雨飾山登山口駐車場（登山）



「躍動する大地を望む」

■ 推薦者からのコメント

あまり知られていないのですが、今も噴煙を上げる焼山をはじめとする頸城の山々から日本海まで一望できるビューポイントです。

□ 講 評

水蒸気を吹きあげる焼山と火打山のふもとで、谷筋には棚田が伸びる。その先の温泉は火山の恵み。ひと汗流したい。

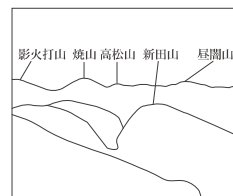
撮影場所：【地点 20】

Map A-1

糸魚川市（とや展望台）

駐車場：特になし

（周囲の迷惑にならないよう、ご注意ください）



「しろ池と雨飾山－新緑」

■ 推薦者からのコメント

百名山の雨飾山～海谷山塊を望める絶景の場所。塩の道沿いに位置するこの場所で歩荷達も同じ景色を眺め、腰を休めたのでしょうか。

□ 講 評

塩の道で荷物を運搬するボッカの宿泊場所でもあったところ。ボッカの人たちもきっとこの優美な姿を見て一息ついたことだろう。

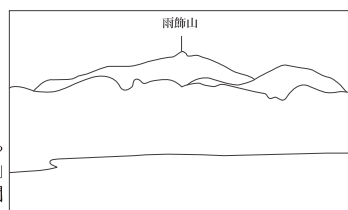
撮影場所：【地点 22】

Map A-1

糸魚川市（しろ池）

駐車場：雨飾山麓しろ池の森駐車場（徒歩 30 分程度）

※同市に白池という別の池があるため「雨飾山麓しろ池の森」でインターネット検索すると間違えにくい





「東と西の境目は」

■ 推薦者からのコメント

ちょうど日本の東と西の境界に位置するこの場所。日本列島を二分する断層の境目はどこに続いているのか・・・？考えるとワクワクする風景です。

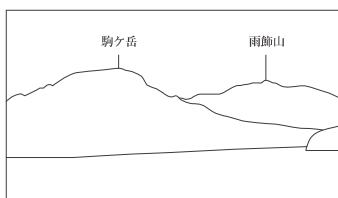
□ 講 評

夕日に照らされた山肌と雨飾山の特徴的な稜線が、ジオパークらしい大地の歴史を感じさせる一枚。

撮影場所：【地点 23】
Map A-1

糸魚川市（フォッサマグナパーク付近）

駐車場：
フォッサマグナパークの
駐車場



「冬だけの特別な景色」

■ 推薦者からのコメント

ゴンドラとリフトで一気に標高 1855m の世界へ。冬だからこそとりつくことができる絶景の景色。黒姫山、高妻山、乙妻山の雄大な山々が見渡せます。

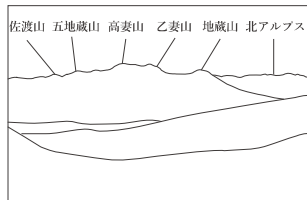
□ 講 評

スキー場がオープンしている時期だからこそみることのできる風景もある。妙高の山頂エリアからの高妻山、乙妻山。

撮影場所：【地点 25】
Map B-2

妙高市（杉ノ原スキー場）

駐車場：
杉ノ原スキー場の駐車場
（写真の場所は、第3高速リフト
→しゃくなげコース）



「山里の春」

■ 推薦者からのコメント

植えられた早苗を頸城連山の山々が見守ってくれているような風景です。山の恵みを得ておいしいお米が育まれています。

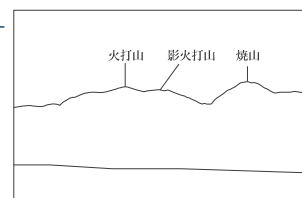
□ 講 評

焼山、火打山などの山岳を背景に、伝統的な農村風景が前景に広がる。山岳を訪ねながら、こうした変哲のない里の美しさにも気づいてほしい。

撮影場所：【地点 24】
Map A-1

糸魚川市（上早川付近）

駐車場：特になし
（周囲の迷惑にならないよう、
ご注意ください）



「鎌池」

■ 推薦者からのコメント

ブナの大木に囲まれた静かな池。ベンチに座ってふと上をみると、実は山が見えています！紅葉はもちろん、新緑の時期もおすすめです。

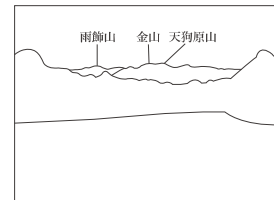
□ 講 評

森に囲まれた池越しに雨飾山が遠望できる。ブナの森がミステリアスなフレームになってくれる。

撮影場所：【地点 26】
Map A-2

小谷村（鎌池）

駐車場：鎌池の駐車場



32 選 <市町村等からの推薦>



「裏から戸隠」

■ 推薦者からのコメント

古池をぐるっと回ると、戸隠山や高妻山を裏側から見られます。鏡池から見るギザギザした戸隠とは違った雰囲気を楽しめる穴場スポットです。

□ 講 評

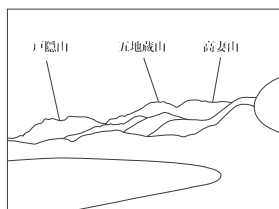
池と五山の組み合わせは多々あるが、古池はこれまであまり注目されていなかった穴場的なビューポイント。森と池の静けさが山の存在を引き立てる。

撮影場所：【地点 27】
Map B-2

信濃町（古池）

駐車場：

大橋登山口の駐車場
（軽登山で30分程度）



「古海」

■ 推薦者からのコメント

ひっそり佇む集落から見える山々。
田畑から垣間見える人々の生活と山の風景は、私たちが自分のふるさとに帰ってきたようなほっとした気持ちにさせてくれます。

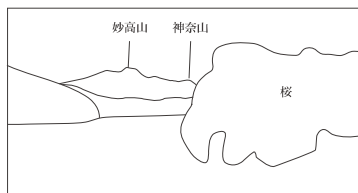
□ 講 評

隠れ里のような古海は、野尻湖の向うに五山を仰ぎ見る素晴らしい視点場である。農村の営みとの関係が非常に印象的な風景を提供している。

撮影場所：【地点 29】
Map B-2

信濃町（古海付近）

駐車場：特になし
（周囲の迷惑にならないよう、ご注意ください）



「上から戸隠」

■ 推薦者からのコメント

美しいブナの樹林帯を抜けて、上から戸隠連峰を眺めます。他にも飯縄山や焼山、火打山も見える絶景ポイントです。

□ 講 評

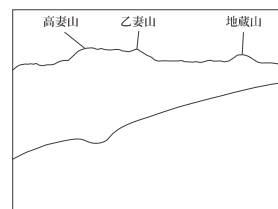
登山者に多様な体験を提供してくれる国立公園の山岳地帯。行き交う登山者の姿ものまた公園の風景の一部である。

撮影場所：【地点 28】
Map B-2

信濃町（黒姫山）

駐車場：

大橋登山口の駐車場
（登山）



「一面のりんご畑から望む五山」

■ 推薦者からのコメント

一面のりんご畑から望む五山
四季を通じてすばらしい景色

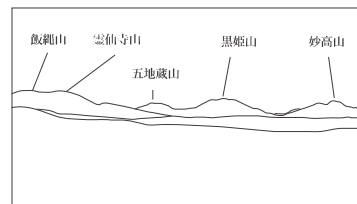
□ 講 評

「北信五岳道路」の名の通り、この道をドライブすればいつも五山に見下ろされる。車で、自転車で、ランニングで、時には早く、時にはゆっくりと流れていく五山の景色を楽しみたい。

撮影場所：【地点 30】
Map B-2

飯綱町（北信五岳道路・倉井付近）

駐車場：特になし
（周囲の迷惑にならないよう、ご注意ください）





「善光寺平と北信五岳の大パノラマ」

■ 推薦者からのコメント

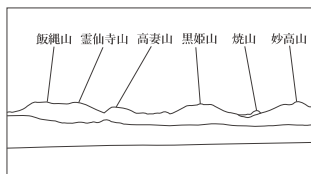
善光寺平を前に北信五岳や北アルプスが見渡せる大絶景。写真はおぶせ温泉付近からですが、近くの「雁田山」に登ればさらなる絶景が見渡せます。

□ 講評

千曲川右岸まで離れるとそれぞれの山の個性的な形がシルエットのように浮かび上がる。この一帯の町や村ではどこも五山が日常の一部になり、地域らしさのアイデンティティになっているだろう。コメ、リンゴ、ブドウなど様々な農産物の収穫時期には、山が遠くまでよく見える日ほど仕事にも精がでるのではないだろうか。

撮影場所：【地点 31】
Map B-2

小布施町
(おぶせ温泉付近)
駐車場：
おぶせ温泉の駐車場等



「実は、見えています」

■ 推薦者からのコメント

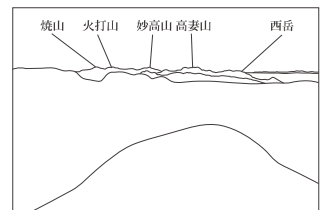
八方尾根では目の前の白馬連峰に目が行きがちですが、実は、谷をはさんで妙高戸隠連山国立公園の山々も良く見えているんです！

□ 講評

国立公園の峰々が空に浮かぶ島のように見える一瞬を切り取った写真。個性の違う山々でありながら、ひとまとまりの「連山」として集まる姿は、ヨーロッパの古い町の教会群のようでもある。

撮影場所：【地点 32】
Map 別枠

白馬村（八方尾根）
駐車場：白馬八方尾根スキー場の駐車場（ゴンドラ・リフト乗車。八方池山荘を経て、軽登山。）



審査委員長 特別賞

※ 惜しくも32選には選ばれなかったものの、多くの方に是非知っていただきたい風景と審査委員長が考えた作品を選定。



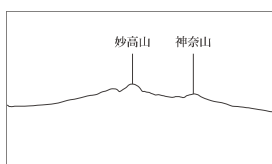
「妙高温泉より望む」 撮影：高塚敏氏

■ 応募者からのコメント

旅館に泊まった大雪の日の翌朝、部屋の窓には見事な風景が広がっていた。

□ 講評

スキーを楽しみ、温泉で疲れを流した翌朝の風景だろうか。旅館の窓からマウンテンビューが味わえるのも妙高の魅力のひとつである。この風景をより一層磨いてほしいという意図で特別賞とした。



撮影場所：【地点 33】 Map B-2
妙高市（妙高温泉）
駐車場：宿泊者向け駐車場あり



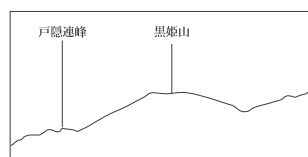
「野尻湖の秋」 撮影：西田幸平氏

■ 応募者からのコメント

野尻湖周辺の紅葉は本当に見事。菅川地区から対岸に黒姫山・戸隠山。午前中、順光の中で見るのもいいですが、夕陽を見るにも素晴らしい場所です。

□ 講評

野尻湖岸からのぞむ五山のなかでも、黒姫と戸隠のセットはあまり見られない組み合わせ。夕日のスポットとしても魅力がありそうで、ぜひ様々な時間帯で味わってほしい。一目五山の多様さを伝える象徴的な一枚として特別賞とした。



撮影場所：【地点 34】 Map B-2 信濃町（菅川付近）
駐車場：特になし
(周囲の迷惑にならないよう、ご注意ください)



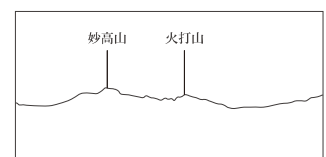
「小菅の里から仰ぎみる妙高山」

■ 応募者からのコメント

小菅の里は、国の重要文化的景観に指定されています。里の中心の通りから妙高山の荘厳ながめが楽しめます。

□ 講評

小菅の景観は文化財（重要文化的景観）である。文化財の農村景観と国立公園の自然景観が一目の中で交わる貴重なスポットであることから、特別賞とした。



撮影場所：【地点 35】 Map 別枠
飯山市（小菅付近）
駐車場：小菅集落内に4ヶ所

「一目五山」の絶景 32 選 撮影場所

A

B



※地名の書いていない番号は、次ページに詳細地図があります。

0 5 10 km



— 妙高戸隠連山国立公園
 — 市町村界
 — 高速道路
 — 国道
 — その他道路

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平30情視 第23号)

撮影地点 詳細地図

※場所は、おおよその位置ですので、ご注意ください

■ 農地や私有地への立入はご遠慮ください

■ 駐車にあたっては、周辺住民の方の迷惑
とならないよう十分ご注意ください



1



6



7



8



9



12



15



17



18



20



24



29



30



33



34



35



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平30情複 第23号)

